



市役所本庁舎前を一齐にスタート

秋空の下健脚競う

第26回一関国際ハーフマラソン



上/59分58秒の大会新記録で優勝したメクボ・J・モグス選手
下/大町角を力走するランナー

第26回一関国際ハーフマラソン大会は9月23日、市役所本庁舎前を発着点とするコースで行われました。ハーフマラソン(21・0975キロ)、10キロ、5キロの男女、年齢別の26種目に、国内外の招待選手を含む、昨年より200人多い1509人がエントリーし、健脚を競いました。

本庁舎前特設会場で行なわれた表彰式では、種目ごとの上位入賞者に賞状と賞品が授与されました。また、特別企画として海外のマラソン大会への派遣選手を決める抽選会も行われ、当選者たちは思いがけないブレゼントに笑顔。家族や周りの選手らから祝福を受けました。

秋風の中、コースを全力で駆け抜ける選手の様子は観衆を魅了し、選手たちもさわやかな秋の一日を満喫していました。

第7回 唐梅館絵巻

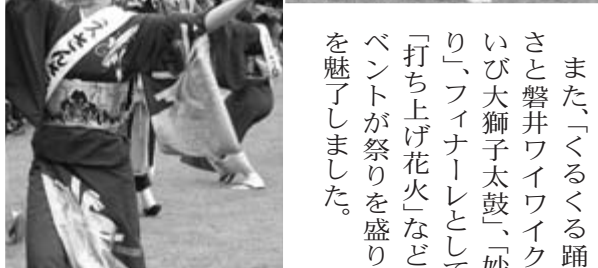
その出来事が運命を決めた

時空超え甦る一族の命運をかけた「軍議」



第7回唐梅館絵巻は9月30日、唐梅館総合公園などを会場に催され、武者行列や軍議再現で県内外から訪れた1万人を超える観衆を魅了しました。

今回総大将の唐梅館城主・千葉胤胤公役にふんじたのは俳優のおおい輝彦さん。騎馬武将や小学生ふんずる若武者など、33人を従えた軍議参上行列が、長坂商店街から唐梅館総合公園までの約2キロを練り歩きました。沿道を埋めた大勢の観衆は、おおいさんの馬上の勇姿に、ひときわ大きな声援を送っていました。



上/唐梅館城主・千葉胤胤公役を演じたおおい輝彦さん
下/出陣祝賀の宴で軽快な踊りを披露したさんさ踊り

軍議の後は、出陣祝賀の宴が行われ、ミスさんさ率いる「盛岡さんさ踊り」が、威勢のよい太鼓の音を会場に響かせました。

また、「くるくる踊り」、「ふるさと警井ワイワイクイズ」、「げいび大獅子太鼓」、「妙見の火祭り」、フィナーレとして行われた、「打ち上げ花火」など、多彩なイベントが祭りを盛り上げ、観衆を魅了しました。

「わたしの主張」地区大会

「わたしの主張」大会は、一関地区大会が9月6日に花泉中学校、一関東地区大会が7日に川崎公民館でそれぞれ行われました。各中学校の代表は、家族、学校生活、地域社会など身近なテーマで感じたことを、表情豊かに訴えかけました。

一関地区大会には、一関・花泉地域と平泉町の12校の代表13人が出場。審査の結果、最優秀賞には鈴木清順君(花泉中3年)が輝きました。鈴木君は、「父の存在」と題し、父親が重病を患いながらも家族を心配する姿から、自分の中の甘えや勝手気ままな振る舞いや父の存在の大きさに気づき、これからは自分が家族を支えて行こうと決心。父親の回復を願い、「父と約束した富士登山をかなえたい」と締めくくりました。

一関東地区大会には、大東・千厩・東山・室根・川崎地域と藤沢町の9校の代表9人が出場。審査の結果、最優秀賞を受賞した鈴木清順君



一関地区大会で最優秀賞を受賞した鈴木清順君

◎一関地区大会▽優秀賞：佐藤愛希(厳美中)・藤城美至(山目中)▽優良賞：齋藤麻美(萩荘中)・千葉津美(一関中)・千葉祐也(舞川中)



一関東地区大会で最優秀賞を受賞した千田成美さん

査の結果、最優秀賞には千田成美さん(興田中3年)が輝きました。千田さんは「大切な人はすぐそばに」と題し、いつも頼りにしていた祖母の入院でその存在の大きさに気づき、「いなくなっという人なんていない。人は誰もが、誰かにとってかけがえのない存在。その大切さに気づいて」と呼び掛け、「それが生きる勇氣となり、心がつながっていいじめもなくなるのでは」と訴えました。

最優秀賞を受賞した二人は9月26日、滝沢村で行われた県大会に地区代表として出場しました。そのほかの受賞者は次のとおりです。(敬称略。出演順。学年はすべて3年)

わたしの主張、独唱、英語暗唱大会 各校代表生徒ら 堂々の自己表現

児童生徒独唱大会

2007年度一関地方児童生徒独唱大会は9月27日、一関文化センターで行われました。大会には市内と平泉町、藤沢町から、小学校の部に24校47人、中学校の部に21校42人の代表が

◎一関東地区大会▽優秀賞：千葉悠加(東山中)▽優良賞：菅原はづき(藤沢中)

中学校英語暗唱大会

第1回一関地方中学校英語暗唱大会は9月4日、川崎公民館で行われました。

中学生の英会話能力や表現力の向上を目的とし、昨年まで東西地区に分かれていたものを統一して初めての大会には、市内と平泉町、藤沢町の中学校21校から、教科書の文章による暗唱の部に37人、自作の英文による



身ぶりも豊かに学習の成果を披露した出場生徒

◎自作の部①鈴木奏絵(舞川中)②松浦未来(一関中)③狩野祐也(山目中)④佐藤美理(萩荘中)⑤佐藤雄治(本寺中)⑥佐々木史織(桜町中)※学年はすべて3年

審査の結果、小学校の部は「星の世界」を歌った千葉愛梨さん



ピアノ伴奏に乗せて、伸び伸びとした歌声を披露した出演児童

出演。ステージに上がり、初めはちよつぱり緊張気味の出演者も、同じ学校の児童生徒や先生の弾くピアノが始まると、リズムに乗せて体を動かしたりしながら、小学生は「茶つみ」や「ふるさと」、中学生は「サンタルチア」や「荒城の月」など、練習を重ねてきた曲を堂々と披露。伸びやかな歌声がホールに響き渡り、客席の保護者や学校関係者から盛んな拍手が送られました。

ん(金沢小6年)、中学校の部は「帰れソレントへ」を歌った菅原直哉君(桜町中3年)がそれぞれ最優秀賞に輝いたほか、全員に▽優秀▽優良▽努力のいずれかの賞が贈られました。

発表しました。発音や暗記の正確性、表現力、さらにスピーチの部では内容を加えた項目で審査が行われ、上位入賞者が次のとおり選ばれました。

スピーチに17人が出場。練習を重ねた英文を、身ぶりを交え声にメリハリを付けながら、表情豊かに